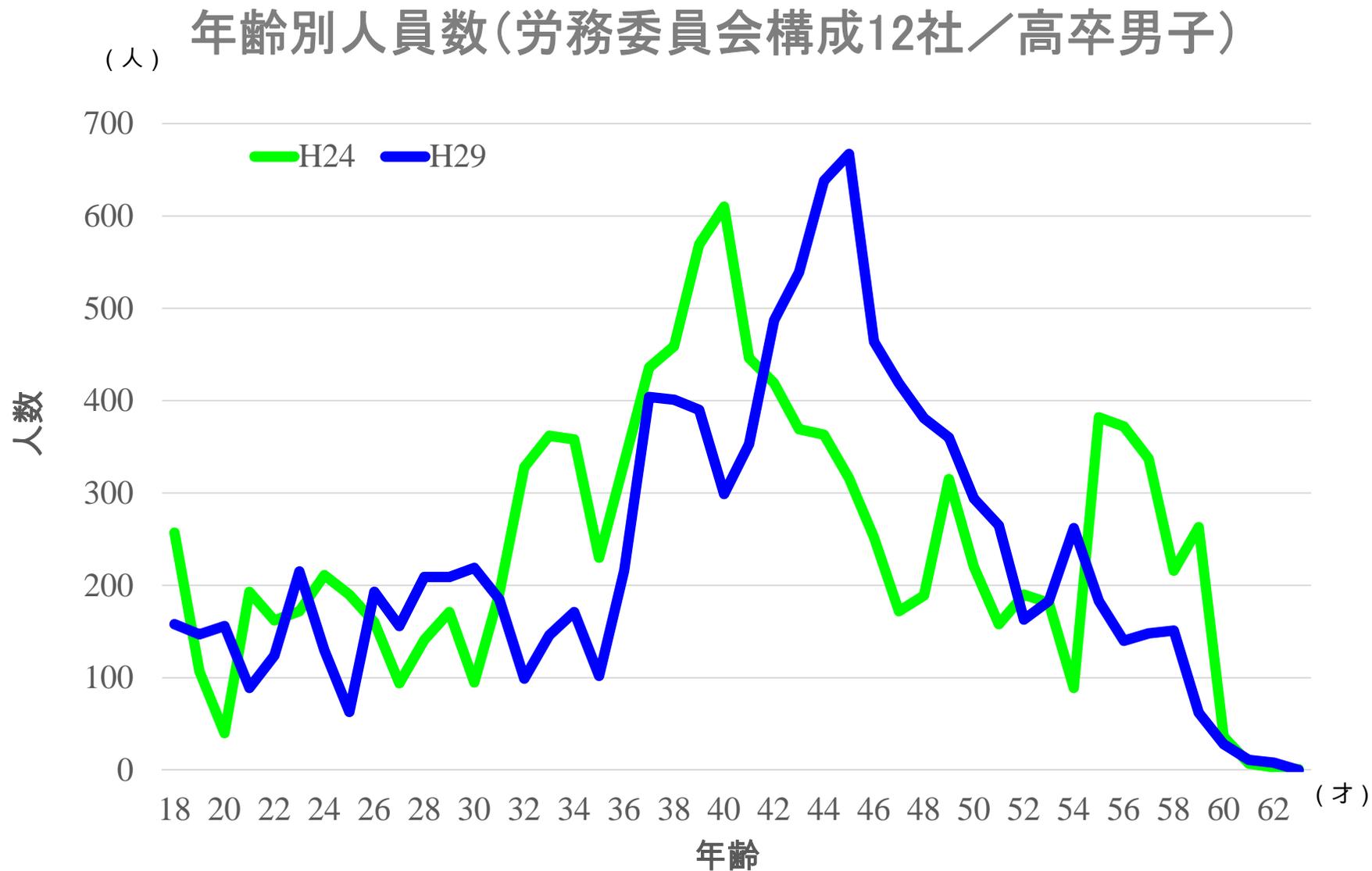


# 製造業安全対策に関するトップ会談 【セッション1】

平成29年9月28日

日本製紙連合会 副会長（労務部会長） 鈴木 邦夫  
（三菱製紙株式会社 代表取締役社長）

# JPA 環境変化（背景）… 5年前と比較した人員構成の変化



## JPA 環境変化①…技術・技能継承問題、ベテラン不足、求人難等

- 団塊の世代の引退を受け、年代別人員構成の大きな変化が発生。  
(グラフ参照)
- 技術や技能の継承につき、困難な状況に直面しつつある。  
一方で、全国的な求人難が続く中、要員の確保も徐々に難しくなっている。
- 公的年金の受給開始年齢は、やがて65才からとなることが確定している。



- ▶ **65才までの定年延長**につき、既に実施済みや検討中の会員会社が複数存在。
- ▶ 60才以上のベテランを貴重な人的資源ととらえ、心身の健康管理の徹底や、60才以降も「評価」の仕組みを継続するなど、労働意欲の維持向上に努める取組みが始まっている。

## JPA 環境変化②…アウトソーシング（外注工事等）の増加

- 装置産業である紙パルプ業界では、設備の修繕・維持更新工事がごく頻繁に実施される。
- これらの施工は外注することが多いが、外注業者によるアウトソーシングの増加に伴い、下請け・孫請けといった発注形態が増えている。
- このような状況の中、外注業者等の臨時入構業者の立入禁止エリア等への侵入による災害が、増加傾向にある。



- ▶ 受け入事業場としての物理的安全の確保
- ▶ 受入れ事業場と入構業者サイドによる双方での教育